

# 豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2020年7月27日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&amp;Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

## 運用報告書(全体版)(第9作成期)

第47期(2016年8月25日) 第50期(2016年11月25日)  
第48期(2016年9月26日) 第51期(2016年12月26日)  
第49期(2016年10月25日) 第52期(2017年1月25日)

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2017年1月25日に第52期決算を行いましたので、第47期から第52期の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト トラース II (ケイマン) 高配 当株・ツイン a ファンド 組入比率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
第 5 作 成 期	23期 (2014年8月25日)	円 8,530	円 170	% 2.5	% 0.0	% —	% 98.3	百万円 32,098
	24期 (2014年9月25日)	7,952	170	△4.8	0.0	—	98.3	32,563
	25期 (2014年10月27日)	7,725	170	△0.7	0.0	—	98.5	32,681
	26期 (2014年11月25日)	7,642	170	1.1	0.0	—	98.5	33,452
	27期 (2014年12月25日)	7,529	170	0.7	0.0	—	98.9	33,426
	28期 (2015年1月26日)	7,369	170	0.1	0.0	—	98.8	33,691
第 6 作 成 期	29期 (2015年2月25日)	7,141	170	△0.8	0.0	—	98.8	32,916
	30期 (2015年3月25日)	7,244	170	3.8	0.0	—	98.6	33,456
	31期 (2015年4月27日)	7,041	170	△0.5	0.0	—	99.0	32,560
	32期 (2015年5月25日)	6,835	170	△0.5	0.0	—	98.8	31,678
	33期 (2015年6月25日)	6,614	170	△0.7	0.0	—	99.1	30,296
	34期 (2015年7月27日)	6,126	170	△4.8	—	—	98.8	27,814
第 7 作 成 期	35期 (2015年8月25日)	5,360	170	△9.7	—	—	98.5	24,228
	36期 (2015年9月25日)	5,253	170	1.2	—	—	98.5	23,595
	37期 (2015年10月26日)	5,601	170	9.9	—	—	98.5	25,310
	38期 (2015年11月25日)	5,533	170	1.8	0.0	—	99.0	25,638
	39期 (2015年12月25日)	5,354	100	△1.4	0.0	—	99.0	24,742
	40期 (2016年1月25日)	5,001	100	△4.7	0.0	—	99.4	22,081
第 8 作 成 期	41期 (2016年2月25日)	4,775	100	△2.5	0.0	—	98.9	20,699
	42期 (2016年3月25日)	5,065	100	8.2	—	—	99.1	21,515
	43期 (2016年4月25日)	4,910	100	△1.1	—	—	99.0	20,552
	44期 (2016年5月25日)	4,649	100	△3.3	—	—	99.4	19,249
	45期 (2016年6月27日)	4,389	100	△3.4	—	—	99.2	17,909
	46期 (2016年7月25日)	4,626	100	7.7	—	—	99.0	18,532
第 9 作 成 期	47期 (2016年8月25日)	4,499	100	△0.6	—	—	98.7	17,895
	48期 (2016年9月26日)	4,375	100	△0.5	—	—	99.2	17,239
	49期 (2016年10月25日)	4,379	100	2.4	—	—	98.8	17,225
	50期 (2016年11月25日)	4,198	100	△1.8	—	—	98.9	16,407
	51期 (2016年12月26日)	4,256	100	3.8	—	—	98.9	16,639
	52期 (2017年1月25日)	4,117	100	△0.9	—	—	98.5	16,269

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第47期	期 首 (前期末) 2016年 7月25日	4,626	—	—	—	99.0
	7 月 末	4,651	0.5	—	—	99.0
	期 末 2016年 8月25日	4,599	△0.6	—	—	98.7
第48期	期 首 (前期末) 2016年 8月25日	4,499	—	—	—	98.7
	8 月 末	4,519	0.4	—	—	98.7
	期 末 2016年 9月26日	4,475	△0.5	—	—	99.2
第49期	期 首 (前期末) 2016年 9月26日	4,375	—	—	—	99.2
	9 月 末	4,374	△0.0	—	—	99.0
	期 末 2016年10月25日	4,479	2.4	—	—	98.8
第50期	期 首 (前期末) 2016年10月25日	4,379	—	—	—	98.8
	10 月 末	4,289	△2.1	—	—	98.7
	期 末 2016年11月25日	4,298	△1.8	—	—	98.9
第51期	期 首 (前期末) 2016年11月25日	4,198	—	—	—	98.9
	11 月 末	4,234	0.9	—	—	98.9
	期 末 2016年12月26日	4,356	3.8	—	—	98.9
第52期	期 首 (前期末) 2016年12月26日	4,256	—	—	—	98.9
	12 月 末	4,224	△0.8	—	—	99.0
	期 末 2017年 1月25日	4,217	△0.9	—	—	98.5

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

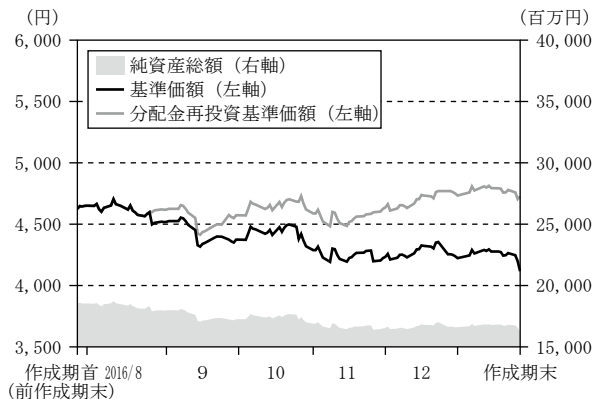
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第47期首：4,626円  
 第52期末：4,117円（既払分配金600円）  
 騰落率：2.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、豪ドルが円に対し上昇したことや、保有しているオーストラリア高配当株式の価格上昇および配当金がプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド	3.0%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

### ■ 投資環境

#### 【オーストラリア株式市場】

当作成期のオーストラリア株式市場は上昇しました。

作成期の前半は、オーストラリアの主要貿易輸出品である鉄鉱石価格や原油価格が回復をみせたことが株価の押し上げ要因となった一方、米国の利上げへの警戒感や米大統領選に対する不透明感などが株価の上値を抑える展開となりました。作成期の後半は、トランプ次期米大統領の積極的な経済政策への期待感などから米国をはじめ主要国の株式市場が底堅く推移するなか、オーストラリア株式市場も上昇しました。また、OPEC（石油輸出国機構）が原油生産量の削減で合意に達したことを受け原油価格が上昇したことも、オーストラリア株式市場の好材料となりました。

#### 【為替市場】

豪ドルは対円で上昇しました。

作成期初は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引下げを決定し、その後も低インフレのもと追加利下げ観測が繰り返されたことで豪ドルは上値の重い展開となりました。2016年9月後半には、原油価格の回復を好感し資源国通貨が買われる展開となり、また、RBAのロウ総裁が経済に対して楽観的な見方を示したことなどを背景に円安豪ドル高基調となりました。11月の米大統領選後は、トランプ次期米大統領による政策への期待から主要国株式市場が上昇し、市場のリスク選好が回復するなか低金利通貨を借り入れて高金利通貨に投資するキャリートレードの動きが活発になったことなどを背景に豪ドルは円に対し上昇しました。国際商品価格の上昇も豪ドルの支援材料となりました。

## 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。作成期初は $\Delta 0.27\%$ 程度でしたが、2016年9月に日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定するなど、短期金利を低位に抑える金融政策が継続したこと、海外投資家の需要の高まりなどから利回りは低下し、作成期末は $\Delta 0.31\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

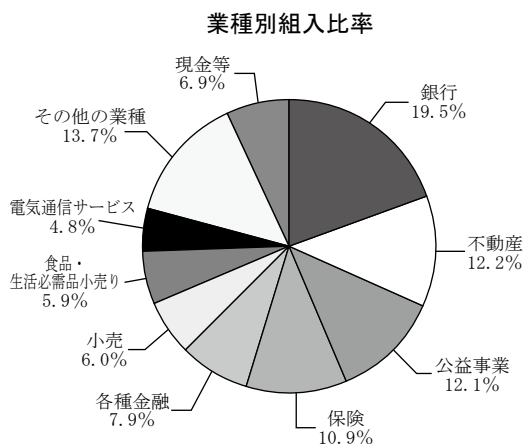
### 【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド」を概ね96～99%程度組入れ、残りの資産については、「T&Dマネープールマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。

### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプション $\alpha$ 戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプション $\alpha$ 戦略」を組合わせた運用を行いました。

### ＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンドの組入状況＞ 2016年12月30日現在（現地基準）



### 組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	5.4%
2	INSURANCE AUSTRALIA GROUP	保険	5.2
3	WESTPAC BANKING CORP	銀行	5.2
4	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	4.9
5	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.8
6	WESFARMERS LTD	食品・生活必需品小売り	4.1
7	AMP LTD	保険	3.9
8	VICINITY CENTRES	不動産	3.8
9	DUET GROUP	公益事業	3.4
10	APA GROUP	公益事業	3.0

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニュー・ヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

## 【T&Dマネープールマザーファンド】

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第47期から第52期まで各100円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

引続き、主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

引続き、主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプションα戦略」および「通貨オプションα戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

### 【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2016年 7 月26日から2017年 1 月25日まで)

費用の明細

項目	第47期～第52期		項目の概要
	2016/7/26～2017/1/25		
	金額	比率	
平均基準価額	4,381円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	32円 ( 12) ( 19)  ( 1)	0.724% (0.272) (0.436)  (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 ( 監査費用)	0 ( 0)	0.006 (0.006)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	32	0.730	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※その他費用(その他)は計上していませんが、17ページに記載しているT&Dマネーブルマザーファンドの1万口当たりの費用明細には、当ファンドの作成対象期間外に発生した金銭信託に係る手数料をその他費用(その他)に計上しています。

売買および取引の状況 (2016年 7 月26日から2017年 1 月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 47 期 ～ 第 52 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口	千円	口	千円
		48,080	192,000	142,893	583,742

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年 7 月26日から2017年 1 月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年1月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第46期末)	当 作 成 期 末 (第 52 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	口 4, 225, 806	口 4, 130, 992	千円 16, 029, 201	% 98.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 46 期 末)	当 作 成 期 末 (第 52 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 4, 916	千口 4, 916	千円 5, 004

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は755, 172千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2017年1月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 52 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	千円 16, 029, 201	% 95.8
T & D マネープールマザーファンド	5, 004	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	699, 098	4.2
投 資 信 託 財 産 総 額	16, 733, 303	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。



## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年8月25日現在 2016年9月26日現在 2016年10月25日現在 2016年11月25日現在 2016年12月26日現在 2017年1月25日現在

項 目	第 47 期 末	第 48 期 末	第 49 期 末	第 50 期 末	第 51 期 末	第 52 期 末
(A) 資 産	18,384,027,789円	17,711,999,066円	17,693,567,730円	16,855,686,096円	17,221,355,260円	16,733,303,532円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	716,470,519	611,824,940	666,144,763	627,924,175	759,177,973	699,098,079
ク レ デ ィ ・ ス イ ス ・ ユ ニ バ ー サ ル ・ ト ラ ス ト ( ケ イ マ ン ) Ⅱ - 豪 州 高 配 当 株 ・ ツ イ ン α フ ァ ン ド ( 評 価 額 )	17,662,551,370	17,095,168,717	17,022,417,558	16,222,757,004	16,457,172,370	16,029,201,028
T&Dマネープールマザーファンド(評価額)	5,005,900	5,005,409	5,005,409	5,004,917	5,004,917	5,004,425
(B) 負 債	488,430,814	472,769,205	468,153,493	448,523,357	581,496,443	463,559,448
未 払 金	-	-	-	-	86,000,000	-
未 払 収 益 分 配 金	397,753,946	394,002,611	393,396,827	390,827,129	391,000,304	395,175,936
未 払 解 約 金	68,064,644	56,419,648	54,738,608	36,995,821	83,969,852	48,426,908
未 払 信 託 報 酬	22,492,414	22,228,700	19,912,045	20,483,550	20,310,955	19,747,295
未 払 利 息	1,440	1,261	1,222	1,252	1,541	1,452
そ の 他 未 払 費 用	118,370	116,985	104,791	215,605	213,791	207,857
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	17,895,596,975	17,239,229,861	17,225,414,237	16,407,162,739	16,639,858,817	16,269,744,084
元 本	39,775,394,602	39,400,261,103	39,339,682,751	39,082,712,926	39,100,030,406	39,517,593,672
次 期 繰 越 損 益 金	△21,879,797,627	△22,161,031,242	△22,114,268,514	△22,675,550,187	△22,460,171,589	△23,247,849,588
(D) 受 益 権 総 口 数	39,775,394,602口	39,400,261,103口	39,339,682,751口	39,082,712,926口	39,100,030,406口	39,517,593,672口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 ( C / D )	4,499円	4,375円	4,379円	4,198円	4,256円	4,117円

(注) 当ファンドの第47期首元本額は40,064,227,835円、第47～52期中追加設定元本額は3,776,004,488円、第47～52期中一部解約元本額は4,322,638,651円です。

(注) 第52期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は23,247,849,588円です。

(注) 第52期末の1口当たり純資産額は0.4117円です。

### 損益の状況

自2016年7月26日 自2016年8月26日 自2016年9月27日 自2016年10月26日 自2016年11月26日 自2016年12月27日  
至2016年8月25日 至2016年9月26日 至2016年10月25日 至2016年11月25日 至2016年12月26日 至2017年1月25日

項 目	第 47 期	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期
(A) 配 当 等 収 益	396,606,480円	398,490,374円	396,688,150円	397,372,759円	394,531,989円	396,938,517円
受 取 配 当 金	396,625,596	398,510,764	396,703,765	397,392,965	394,552,502	396,960,208
支 払 利 息	△ 19,116	△ 20,390	△ 15,615	△ 20,206	△ 20,513	△ 21,691
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 478,492,515	△ 468,566,393	△ 26,592,326	△ 688,096,080	△ 234,528,123	△ 530,061,999
売 買 益	3,865,479	6,805,125	28,756,285	11,880,212	236,259,729	4,016,464
売 買 損	△ 482,357,994	△ 475,371,518	△ 2,163,959	△ 699,976,292	△ 1,731,606	△ 534,078,463
(C) 信 託 報 酬 等	△ 22,610,784	△ 22,345,685	△ 20,016,836	△ 20,699,155	△ 20,524,746	△ 19,955,152
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 104,496,819	△ 92,421,704	△ 403,263,640	△ 311,422,476	△ 608,535,366	△ 153,078,634
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△13,608,253,480	△13,868,238,342	△14,188,799,215	△13,924,019,712	△14,313,078,445	△13,828,471,932
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 7,769,293,382	△ 7,806,368,585	△ 7,935,336,112	△ 8,049,280,870	△ 8,364,628,206	△ 8,871,123,086
(配 当 等 相 当 額 )	( 4,928,005,088 )	( 4,883,067,921 )	( 4,878,212,397 )	( 4,848,500,517 )	( 4,853,025,762 )	( 4,901,996,630 )
(売 買 損 益 相 当 額 )	(△12,697,298,470)	(△12,689,436,506)	(△12,813,548,509)	(△12,897,781,387)	(△13,217,653,968)	(△13,773,119,716)
(G) 合 計 ( D + E + F )	△21,482,043,681	△21,767,028,631	△21,720,871,687	△22,284,723,058	△22,069,171,285	△22,852,673,652
(H) 収 益 分 配 金	△ 397,753,946	△ 394,002,611	△ 393,396,827	△ 390,827,129	△ 391,000,304	△ 395,175,936
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	△21,879,797,627	△22,161,031,242	△22,114,268,514	△22,675,550,187	△22,460,171,589	△23,247,849,588
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 7,769,293,382	△ 7,806,368,585	△ 7,935,336,112	△ 8,052,722,780	△ 8,373,969,642	△ 8,889,315,657
(配 当 等 相 当 額 )	( 4,928,005,088 )	( 4,883,067,921 )	( 4,878,212,397 )	( 4,848,058,607 )	( 4,843,684,326 )	( 4,883,804,059 )
(売 買 損 益 相 当 額 )	(△12,697,298,470)	(△12,689,436,506)	(△12,813,548,509)	(△12,897,781,387)	(△13,217,653,968)	(△13,773,119,716)
分 配 準 備 積 立 金	44,609,332	26,220,241	10,549,396	-	-	-
繰 越 損 益	△14,155,113,577	△14,380,882,898	△14,189,481,798	△14,622,827,407	△14,086,201,947	△14,358,533,931

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 分配金の計算過程

### 【第47期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（373,995,696円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（4,928,005,088円）および分配準備積立金（68,367,582円）より、分配対象収益は5,370,368,366円（1万円当たり1,350円）であり、うち397,753,946円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

### 【第48期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（376,144,689円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（4,883,067,921円）および分配準備積立金（44,078,163円）より、分配対象収益は5,303,290,773円（1万円当たり1,345円）であり、うち394,002,611円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

### 【第49期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（377,928,371円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（4,878,212,397円）および分配準備積立金（26,017,852円）より、分配対象収益は5,282,158,620円（1万円当たり1,342円）であり、うち393,396,827円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

### 【第50期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（376,673,604円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（4,848,500,517円）および分配準備積立金（10,711,615円）より、分配対象収益は5,235,885,736円（1万円当たり1,339円）であり、うち390,827,129円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

### 【第51期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（381,658,868円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,853,025,762円）より、分配対象収益は5,234,684,630円（1万円当たり1,338円）であり、うち391,000,304円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

### 【第52期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（376,983,365円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,901,996,630円）より、分配対象収益は5,278,979,995円（1万円当たり1,335円）であり、うち395,175,936円（1万円当たり100円）を分配金額としております。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万円当たり・税引前）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2016年7月26日 ～2016年8月25日	2016年8月26日 ～2016年9月26日	2016年9月27日 ～2016年10月25日	2016年10月26日 ～2016年11月25日	2016年11月26日 ～2016年12月26日	2016年12月27日 ～2017年1月25日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	2.174	2.235	2.233	2.327	2.296	2.371
当期の収益	94	95	96	96	97	95
当期の収益以外	5	4	3	3	2	4
翌期繰越分配対象額	1,250	1,245	1,242	1,239	1,238	1,235

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

## 《お知らせ》

平成28年10月26日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。

## 補足情報

### T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

### T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

## 組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p><b>〔高配当株投資〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。</li> <li>主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。</li> <li>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul> <p><b>〔株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。</li> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</li> <li>原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。</li> </ul> <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨーククモロン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2015年2月1日～2016年1月31日

単位：円

**収益**

投資に係る純損益	(2,239,791,481)
受取配当金	1,411,571,668
外国為替取引に係る純損益	( 61,366,847)
その他収益	26,188,813
受取利息	562,661
スワップ取引に係る収益	1,150,553,348
投資純損益	<u>287,718,162</u>

**費用**

投資顧問料	138,139,151
取引手数料	26,188,813
その他費用	79,423,988
管理・保管費用	16,452,043
事務代行手数料	1,659,791
運用報酬	600,322
運用費用合計	<u>262,464,108</u>

**期中の純資産変動**

25,254,054

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

## (2) 組入資産の明細

作成基準日：2016年1月31日

## 1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
ADELAIDE BRIGHTON LTD	690,608		279,744,441	素材
AUST AND NZ BANKING GROUP	377,466		781,632,943	銀行
WESTPAC BANKING CORP	418,527		1,105,725,610	銀行
TELSTRA CORP LTD	1,921,419		926,401,385	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	323,968		297,971,767	銀行
BWP TRUST	418,436		110,011,006	不動産
ASX LTD	203,826		739,233,630	各種金融
TRANSURBAN GROUP	272,029		251,132,364	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	96,056		647,146,144	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	1,176,611		414,136,440	不動産
APA GROUP	410,009		297,754,245	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	2,602,238		1,174,427,872	保険
G. U. D. HOLDINGS LTD	394,037		219,678,074	耐久消費財・アパレル
GPT GROUP	1,237,884		517,330,986	不動産
FAIRFAX MEDIA LTD	6,584,817		499,063,377	メディア
SUNCORP GROUP LTD	485,594		482,807,771	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	250,145		592,533,245	銀行
PERPETUAL LTD	78,808		278,800,932	各種金融
JB HI-FI LTD	409,402		821,117,996	小売
IOOF HOLDINGS LTD	1,281,159		900,772,064	各種金融
STW COMMUNICATIONS GROUP LTD	1,205,200		78,440,695	メディア
STOCKLAND	764,139		267,648,241	不動産
UGL LIMITED	568,449		107,098,381	資本財
WESFARMERS LTD	279,382		1,008,952,551	食品・生活必需品小売り
SEVEN WEST MEDIA LTD	3,711,415		263,807,010	メディア
ILUKA RESOURCES LTD	155,417		72,271,500	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	110,109		263,556,269	エネルギー
WOOLWORTHS LTD	281,422		585,161,100	食品・生活必需品小売り
PACIFIC BRANDS LIMITED	3,580,120		246,809,677	小売
DUET GROUP	5,857,747		1,158,807,534	公益事業
DEXUS PROPERTY GROUP	1,111,155		700,359,750	不動産
TATTS GROUP LTD	719,507		255,712,430	小売
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	2,946,620		498,379,250	公益事業
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	596,700		330,108,932	各種金融
SEVEN GROUP HOLDINGS LTD	709,387		287,351,247	資本財
SYDNEY AIRPORT	528,600		297,866,575	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	1,235,957		225,450,750	不動産
SCENTRE GROUP	1,946,391		725,083,570	不動産
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	955,746		211,987,851	銀行
AUSNET SERVICES	6,495,435		814,919,267	公益事業
AGL ENERGY LTD	193,520		308,253,147	公益事業
VICINITY CENTRES	4,666,916		1,163,032,077	不動産
合計			21,208,480,096	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

## 2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
44,900,788,325	(106,055,663)

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

## T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第24期（決算日 2016年12月12日）

（計算期間 2016年6月11日から2016年12月12日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2016年12月12日に第24期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率			
20期（2014年12月10日）	10,183	0.0	22.0	—	百万円 1,771
21期（2015年6月10日）	10,183	0.0	21.3	—	1,736
22期（2015年12月10日）	10,184	0.0	65.8	—	1,521
23期（2016年6月10日）	10,183	△0.0	—	—	780
24期（2016年12月12日）	10,179	△0.0	—	—	768

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首 (前期末) 2016年 6 月 10 日	円 10,183	% —	% —
6 月 末	10,182	△0.0	—
7 月 末	10,182	△0.0	—
8 月 末	10,181	△0.0	—
9 月 末	10,180	△0.0	—
10 月 末	10,180	△0.0	—
11 月 末	10,179	△0.0	—
期 末 2016年12月12日	10,179	△0.0	—

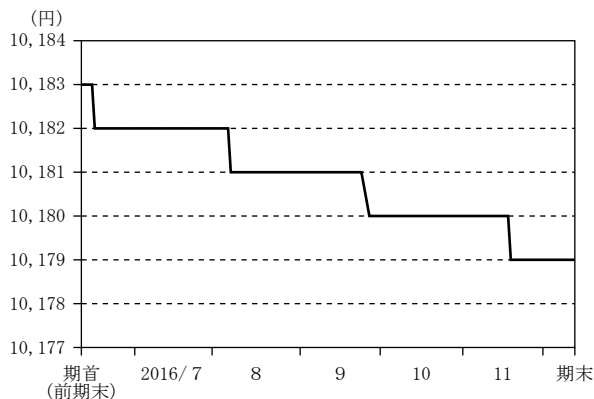
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,183円からスタートし、期末は10,179円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。



## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.27\%$ 程度でしたが、2016年9月に日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定するなど、短期金利を低位に抑える金融政策が継続したこと、海外投資家からの需要の高まりなどから利回りは低下し、期末は $\Delta 0.44\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## ■ 今後の運用方針

日本経済は、景気の基調がしっかりしているとは言えず、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと予想します。日銀が導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2016/6/11~2016/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,180円	
その他費用 (その他)	0円 ( 0)	0.003% (0.003)
合計	0	0.003

(注) 費用項目につきましては6ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

売買および取引の状況 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年6月11日から2016年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年12月12日現在)

下記は、T&Dマネープールマザーファンド全体(755,001千口)の内容です。

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2016年12月12日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 768,517	100.0 %
投資信託財産総額	768,517	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	768,517,255円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	768,517,255
(B) 負 債	1,515
未 払 利 息	1,515
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	768,515,740
元 本	755,001,400
次 期 繰 越 損 益 金	13,514,340
(D) 受 益 権 総 口 数	755,001,400口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,179円

(注) 期首元本額 766,234,066円  
 期中追加設定元本額 82,586,525円  
 期中一部解約元本額 93,819,191円

(注) 1口当たり純資産額は1,0179円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

世界物価連動国債ファンド	90,610,452円
T & D インド中小型株ファンド	19,910,198円
米国リート・プレミアムF (毎月分配型) 円ヘッジコース	3,385,141円
米国リート・プレミアムF (毎月分配型) 通貨プレミアムコース	40,218,191円
米国リート・プレミアムF (年2回決算型) マネープール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型)	4,916,905円
野村エマーゼンシング債券 (円コース) 毎月分配型	33,903,179円
野村エマーゼンシング債券 (円コース) 年2回決算型	5,675,163円
野村エマーゼンシング債券 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマーゼンシング債券 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマーゼンシング債券 (豪ドルコース) 毎月分配型	38,989,580円
野村エマーゼンシング債券 (豪ドルコース) 年2回決算型	2,636,170円
野村エマーゼンシング債券 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	311,359,888円
野村エマーゼンシング債券 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	9,735,828円
野村エマーゼンシング債券 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマーゼンシング債券 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマーゼンシング債券 (カナダドルコース) 毎月分配型	2,513,771円
野村エマーゼンシング債券 (カナダドルコース) 年2回決算型	799,555円
野村エマーゼンシング債券 (メキシコペソコース) 毎月分配型	70,541,888円
野村エマーゼンシング債券 (メキシコペソコース) 年2回決算型	11,872,046円
野村エマーゼンシング債券 (トルコリラコース) 毎月分配型	47,975,980円
野村エマーゼンシング債券 (トルコリラコース) 年2回決算型	4,042,047円
野村エマーゼンシング債券 (金コース) 毎月分配型	20,422,125円
野村エマーゼンシング債券 (金コース) 年2回決算型	8,783,712円
野村エマーゼンシング債券投信 (マネープールファンド) 年2回決算	4,502,463円
資源ツインαファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース	4,910,145円
資源ツインαファンド (通貨選択型) トルコリラコース	883,826円
資源ツインαファンド (通貨選択型) 米ドルコース	6,383,188円
資源ツインαファンド (通貨選択型) マネープールコース	87,406円

### 損益の状況

当期 自2016年6月11日 至2016年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 288,287円
支 払 利 息	△ 288,287
(B) そ の 他 費 用	△ 23,296
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 311,583
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	14,013,257
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,503,475
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,690,809
(G) 合 計 (C + D + E + F)	13,514,340
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	13,514,340

(注) 損益の状況の中で

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。